

第6回地球研フォーラム

# 地球環境問題としての「食」

2007年7月7日(土)

13:30~17:00 (13:00開場)

国立京都国際会館 入場無料

(京都市左京区宝ヶ池、地下鉄烏丸線 国際会館駅下車)



【主催】地球研

(大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 総合地球環境学研究所)

# 地球環境問題としての「食」

プログラム

所長挨拶

立本成文 (たちもと・なりふみ) / 総合地球環境学研究所所長

話題提供



## 1. 人間にとってのおいしさ

伏木 亨 (ふしき・とおる)

京都大学農学研究科食品生物学専攻教授。おいしさの脳科学、特に食べ物の「コク」の解明、自律神経活動に影響を与える食品、中枢性の疲労感の発生機構の解明と食品開発など、食品に関わる問題を探索している。



## 2. 日本人はなにを食べてきたか

湯本貴和 (ゆもと・たかかず)

総合地球環境学研究所教授。熱帯林における動物と植物の相互関係を研究してきた。現在は、日本列島の自然をつくりあげてきた人間活動と生物資源利用の歴史を解明するプロジェクトを実施し、今後の人間と自然の関係のあり方を模索している。



## 3. あなたの食卓はいま

佐藤洋一郎 (さとう・よういちろう)

総合地球環境学研究所教授。フィールドでの野生イネ調査を長く続けるとともに、遺跡から出土した種子のDNAを分析するDNA考古学を確立。「DNAから考古学まで」という視点から、ユーラシアの農業と環境1万年関係史を追求してみたい。



## 4. 農業・漁業の持続可能性を問う

嘉田良平 (かだ・りょうへい)

放送大学客員教授。アマタ(株)持続可能経済研究所顧問を兼務。専門は農政学、環境経済学。「農政の転換」「食品の安全性を考える」などの著書がある。環境保全型農業を提唱しつつ、研究と実践の両面から中山間地域の環境修復と地域再生に取り組む。

パネルディスカッション

伏木 亨×湯本貴和×佐藤洋一郎×嘉田良平



【司会】秋道智彌 (あきみち・ともや)

総合地球環境学研究所副所長。東南アジア、オセアニア、日本で自然と人間の文化の関わりについて調査・研究に従事。人間が植物や動物をどのように認知し、利用するかに興味をもつ。最近では、中国雲南省やラオスなどで、動植物の資源利用の歴史から地域の生態史を探る研究を実施している。

総合司会

斎藤清明 (さいとう・きよあき) / 総合地球環境学研究所教授

### 【申込方法】

はがき、FAX、E-mailにて●郵便番号●住所●氏名●電話番号●参加人数を明記の上、下記「地球研フォーラム事務局」までお申し込み下さい。後日参加券をお送りします。

### 【応募締切日】6月25日(月)

応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。(定員250名) お寄せいただいた個人情報は、参加券の発送にのみ利用いたします。

### 【申込先・お問い合わせ先】

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457番地4 総合地球環境学研究所 研究協力課 地球研フォーラム事務局  
電話 (075) 707-2126 FAX (075) 707-2106 E-mail: forum@chikyu.ac.jp

# 地球環境問題としての「食」

## 人間にとってのおいしさ

伏木 亨 / 京都大学農学研究科教授

## 日本人はなにを食べてきたか

湯本貴和 / 地球研教授

## あなたの食卓はいま

佐藤洋一郎 / 地球研教授

## 農業・漁業の持続可能性を問う

嘉田良平 / 放送大学客員教授

## パネルディスカッション

司会 秋道智彌 / 地球研副所長



【主催】地球研

(大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 総合地球環境学研究所)

### 【申込方法】

はがき、FAX、E-mailにて・郵便番号・住所・氏名・電話番号・参加人数を明記の上、下記「地球研フォーラム事務局」までお申し込み下さい。後日参加券をお送りします。

### 【応募締切日】6月25日(月)

応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。(定員250名)  
お寄せいただいた個人情報は、参加券の発送にのみ利用いたします。

### 【申込先・お問い合わせ先】

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457番地4  
総合地球環境学研究所 研究協力課 地球研フォーラム事務局  
電話 (075) 707-2126 FAX (075) 707-2106  
E-mail: forum@chikyuu.ac.jp

# 2007年7月7日(土)

13:30~17:00 (13:00開場)

入場無料

## 国立京都国際会館

(京都市左京区宝ヶ池、地下鉄烏丸線 国際会館駅下車)